

— 徳島大学 創立70周年 — 人・地域をはぐくみ 未来をつくる

創立70周年を迎えた徳島大学は、徳島県の基幹産業でもある『光』をテーマに、新たな光産業の創出に向けた研究や関連人材の育成に注力している。また、2018年には「次世代『光』創出・応用による産業振興・若者雇用創出計画」が内閣府地方大学・地域産業創生交付金に採択されるなど、『光』をキーワードとした地域連携の中心的役割が期待されている。

光科学を学ぶなら徳島、光産業を仕事にするなら徳島 次世代『光』創出・応用による産業振興・若者雇用創出計画

徳島県は世界有数の発光ダイオード(LED)メーカーが立地する優位性を生かし、2005年に「LEDバレイ構想」を策定。現在では157社のLED関連企業が集積し、関連産業は徳島県の基幹産業となっている。

2027年度末の目標(KPI)	
【光関連産業の製造品出荷額等の増加額】	1,700億円 (17年度 4,500億円⇒27年度 6,200億円)
【光関連産業の雇用者数の増加数】	5,300人 (同1万1,200人⇒同1万6,500人)
【専門人材育成プログラム受講生の地元就職・起業数】	累計125人

【大学組織改革の実現】
・ポストLEDフォトニクス研究所設置
・トップレベル研究者の招へい
・分野横断型大学院「創成科学研究科」の創設

こうした徳島県の強み、備えを有する安井武史所長でも「光」を生かす下、理化学研究所の平山秀樹主任研究員や田中拓男主任研究員、電気通信大学の美濃島教授とD)の研究開発、専門人材の教育に取り組むのが「創成科学研究科」の役割。LEDの社会実装やポストLEDとして期待される「深紫外」画は「光科学を学ぶなら徳島、光産業を仕事にするなら徳島」を合言葉に、18年度から10カ年計画で行われる内閣府地方大学・地域産業創生交付金によって取り組む。次世代の光源開発や光を応用した医療機器開発、専門人材の育成などを通じて、次世代光関連産業をけん引する世界最先端の研究開発・生産拠点形成を目指す。

最先端の研究・生産拠点形成を目指す

「光」は日常生活のあらゆる場面で使われています。一般的にはLEDなど目に見える可視光が知られていますが、それは光の一部に過ぎません。深紫外や赤外、テラヘルツといった「目には見えない光」は、可視光とは異なる特徴的な性質を有しており、今後さまざまな応用が期待されています。当研究所では、こうした次世代光源の開発と応用分野の開拓を目指し、学内研究特区として研究者に予算や時間・人員などのインセンティブを付与することで、研究に専念できる体制としています。

徳島大学 学長 野地 澄晴氏 インタビュー

「創立70周年おめでとうございます。」「ありがとうございます。」「創立70周年を迎えた徳島大学は、徳島県の基幹産業でもある『光』をテーマに、新たな光産業の創出に向けた研究や関連人材の育成に注力している。また、2018年には「次世代『光』創出・応用による産業振興・若者雇用創出計画」が内閣府地方大学・地域産業創生交付金に採択されるなど、『光』をキーワードとした地域連携の中心的役割が期待されている。」



新たな産業創出へリーダーシップ発揮

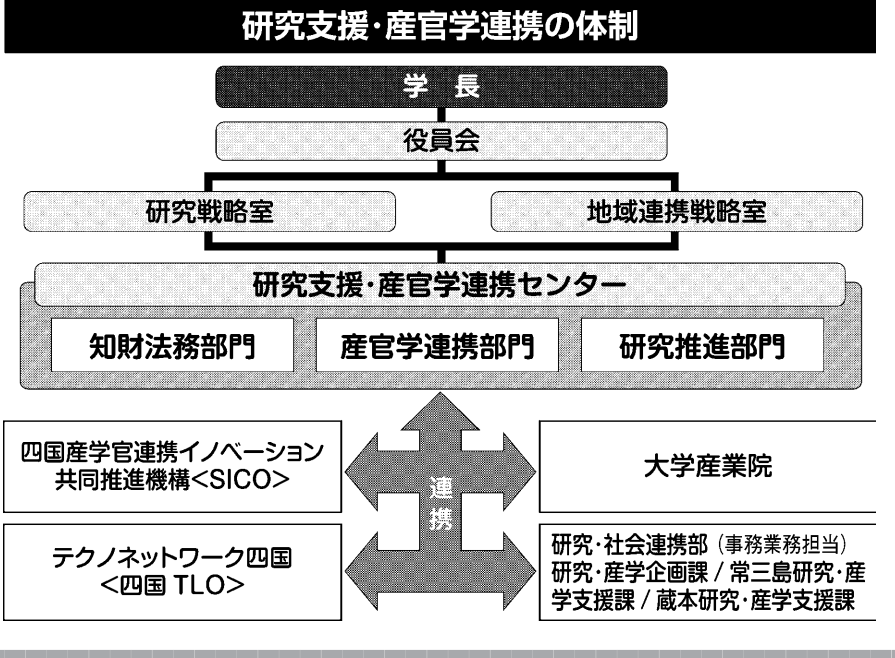
「がん細胞に色素を付着させて、それを光を照射することでがん細胞を死滅させる」といった研究など、光連携をキーワードに光技術の医療分野への応用研究を推進しています。18年度に内閣府地方大学・地域産業創生交付金に採択されました。「次世代『光』創出・応用による産業振興・若者雇用創出計画」として、光技術の医療分野への応用研究をはじめ、新たな光産業の創出や人材育成などに徳島県や支援機関、県内企業など産官学が一体となって取り組んでいく計画です。

医、光、連携で応用研究推進

「18年4月に大学産学院を設置しました。狙いは、「従来は各企業と教授個人とのつながりでしたが、大学の組織として対応することが特徴です。大学の対応窓口を学部横断的な組織の大学産学院が担い、企業と連携して進める基礎研究や製品開発のための研究室などを設置するものです」。

「例えば企業の課題解決に取り組む場合、一人の教授の力で解決できることは少なく、さまざまな人が関わって解決することが多いと考えています。大学の組織として取り組めば、最適なチームによる対応が可能になり、これまで以上の課題解決ができると考えています。地球規模の問題を解決することが大学の大きな使命の一つであると考えています。さらにスタートアップ企業の支援も注力しており、地域から求められる役割は、特にアーリーステージの研究開発支援などを目的とした投資組合の設立も検討しています」。

「今後、国立大学としてリーダーシップを発揮して産官学連携に取り組んでいきたいと思っています」。



未知の可能性秘めた「新しい光」で未来を切り拓く

「光」は日常生活のあらゆる場面で使われています。一般的にはLEDなど目に見える可視光が知られていますが、それは光の一部に過ぎません。深紫外や赤外、テラヘルツといった「目には見えない光」は、可視光とは異なる特徴的な性質を有しており、今後さまざまな応用が期待されています。当研究所では、こうした次世代光源の開発と応用分野の開拓を目指し、学内研究特区として研究者に予算や時間・人員などのインセンティブを付与することで、研究に専念できる体制としています。

当研究所では社会実装を最終目標としているため、より市場に近い



融合研究通じ実用化を目指す

「光」は日常生活のあらゆる場面で使われています。一般的にはLEDなど目に見える可視光が知られていますが、それは光の一部に過ぎません。深紫外や赤外、テラヘルツといった「目には見えない光」は、可視光とは異なる特徴的な性質を有しており、今後さまざまな応用が期待されています。当研究所では、こうした次世代光源の開発と応用分野の開拓を目指し、学内研究特区として研究者に予算や時間・人員などのインセンティブを付与することで、研究に専念できる体制としています。

阿波銀行

〒770-8601 徳島県徳島市西船場町二丁目24-1
TEL 088-623-3131

KAKEN-TECHNO CO.,LTD.

化研テクノ株式会社
〒770-0873 徳島県徳島市東沖洲2丁目17
TEL 088-664-6321 FAX 088-664-6336

KITAKIKAI

喜多機械産業株式会社
〒770-0044 徳島県徳島市町町3-16 TEL 088-631-9266 FAX 088-631-9270

一般財団法人厚仁会

〒770-0042 徳島市蔵本町二丁目50-1(徳島大学病院内)
TEL 088-632-7281 FAX 088-679-7353

NIRA ニタコンサルタント株式会社

〒771-0122 徳島県徳島市川内町錦江西38-2
TEL 088-665-5550 FAX 088-665-0115

株式会社レディ薬局

〒790-8556 愛媛県松山市南江戸4-3-37
TEL 089-917-8000 FAX 089-927-0801

徳島大学 創立70周年

おめでとうございます。

Arithmer

〒106-6040 東京都港区六本木一丁目6番1号
泉ガーデンタワー 38/40F(受付)
TEL 03-5579-6683
<https://arithmer.co.jp/>

安全・安心・美味しさを包む 四国化工機グループ

つくっているのは「食文化」です。

四国化工機株式会社

〒771-0287 徳島県板野郡北島町太郎八須字西の川110番地1
TEL 088-698-4141
<https://www.shikoku-kakoki.co.jp/>

「安全とやすらぎを提供し、社会と共に豊かに」

日本フネン株式会社

〒779-3394 徳島県吉野川市川島町三ツ島新田179-1
Tel : 0883-25-4660 Fax : 0883-25-5115 URL <http://www.nihonfunen.co.jp/>